

経営Ⅰ 中間試験

【注意事項】

- ・試験時間は60分です。
- ・本試験は、持ち込みは不可です。教科書、ノート等はカバンなどにしまって下さい。
- ・携帯電話、スマートフォンの電源は切ってください。
- ・30分経過したら、退出しても構いません。答案を提出して、静かに退出して下さい。

【問題】

下記の問1、問2に答えなさい。

(問1)

あなたは、外部の製麺所などから材料を購入し、ある町の繁華街でラーメン屋を開業しています。その製麺所は、特殊な製法で麺を製造しており、他のお店からも引き合いが多いところです。また、繁華街は、人通りが多く、数多くの飲食店やファストフードのお店が立地しています。

開業にあたって、当該事業がどのくらい収益性があるのかという「事業としての魅力度」を、あなたはどのように判断しますか。また、事業の魅力度を高め、競争優位を獲得しようとするれば、どのような施策が必要だと考えますか。背景となる理論を説明しながら、自分の考えを述べてください。

(問2)

A社は、家電を主力事業とする大企業であり、本業の家電以外にも複数の事業を展開しています。同社の家電事業は、市場シェアは高いものの、市場自体は、成熟市場とみなされています。一方、新規事業として参入した人工知能などのIT事業は、将来有望な市場として期待されており、同社はトップの市場シェアを確保しています。

しかし、太陽光発電・風力発電などの環境システム事業は、SDGsの潮流に合致し、今後も成長が期待されている分野であるものの、参入したばかりのため、A社の市場シェアは低い状況にあります。

さらに、原子力事業は、東日本大震災以降、市場自体が縮小傾向で低迷しており、A社の市場シェアも低いままです。

このように複数の多角化事業をかかえるA社は、全社的に、そして個別事業において、どのような戦略を立てればよいのでしょうか。分析に用いるモデルを説明しながら、A社の具体的な戦略を説明してください。